

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所みらくる（放課後等デイサービス）		公表日		令和8年8月13日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0	スペースや配置数など適切にしていますが、野外活動時はもう少し手厚くする必要性を考慮しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	80	20			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60	40	やることにより部屋を使い分ける等の対応を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0	毎朝しっかりと清掃と消毒を行い、快適に過ごす事が出来るよう配慮しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0	職員に伝える事で使用できるようになっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100	0	毎朝、振り返りやミーティングを行っており、改善に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	保護者のみなさんより頂いた意見を改善につなげていますが、まだ改善途中のものもあります。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	毎朝の振り返りやミーティングの際に行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100	0	グループ会社の人たちより意見をもらい改善をしています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0	法定研修はもちろん、その都度必要と思われる知識獲得のための研修を事業所内でも行っています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0	作成し、公表もしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0	年に1度はアセスメントを行っており、定期的なアセスメント、面談を行い、ニーズ把握などに努め、計画書を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	全職員が会議に参加し、モニタリングを実施し次回の計画書の内容を決めています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0	全職員が確認を行い、支援にあたっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0	年に1度標準化されたツールを用いてアセスメントを行っており、必要に応じて個々のアセスメントも行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0	全ての項目を盛り込んで作成をしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0	毎朝全職員でミーティングを行い決めています。また、月ごとのイベントなど、会議でみんな決めてしています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	同じような活動や遊びにならない様配慮しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0	1人1人に合わせて支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0	毎朝必ず振り返りとミーティングを行い、確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100	0	次の日の朝に振り返りを行い、次の活動に生かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0	毎日しっかりと記録を取っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0	半年に1度は必ず見直しをかけています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100	0	複数組み合わせ支援の提供を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0	身体を動かす時間など、どのような活動をしたいかなど子どもたちに決めてもらっています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0	管理者または児発管が参加をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0	学校一斉公開日などを活用し様子を見たり、先生から色々教えてもらっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100	0	学校とも連絡を取り合っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100	0	お互いに児童のことについて話をするなどしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100	0	担当者会議に行き、今までの児童の様子などを伝え、対象児が働いている所を実際に見学をさせてもらうなどしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100	0	連携を図っており、研修なども参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20	80	基本的には設けていませんが、お祭りなどがある時は参加したりしています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	80	20	子ども部会への参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	面談時や送迎時、電話やLINEなどを活用し共通理解が持てる様工夫をしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60	40	保護者より相談があった場合は対応していますが、大多数の保護者に向けて一斉に行うことはしていません。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0	契約時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0	契約時と年度初めの際にニーズ把握を行ったり、普段の会話の中で意向の確認ができる様工夫をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0	保護者から同意をいただき、サインをいただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0	ご相談いただいたご家庭に関しては、面談の時間を作り対応をしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	40	60	現状行っていません。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0	迅速に対応しており、記録等の整備も行っていきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100	0	月に1度お便りを配布しており、その際に次の月の予定のお便りも配布しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0	留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	伝え方等工夫をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60	40	地域の日とは呼べていませんが、関係事業所の人たちを招いて縁日を開催する等をしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	0	避難訓練などもしていますが、マニュアルの周知についてはまだ保護者の方に認知されていない現状があります。	保護者の方たちに、マニュアルがある事を伝えていく工夫が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0	策定しており、訓練と研修を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100	0	契約時や面談時に確認をしており、新しい薬を飲むなどの場合は、職員に周知しどのような効果があるのか等情報を集めています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100	0	医師の指示書をもらってはいませんが、アレルギーのある児童に対して提供しない様、アレルギー一覧を作成し、事故が起こらない様努めています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0	安全計画を作成しており、必要な研修を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100	0	しっかりと保護者の方に認知されていない状況があります。	取り組み内容などどのように周知していくのが課題となります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0	ヒヤリハットを共有しており、会議も定期的に行い再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	研修を行っており、セルフチェックやストレスチェックなどのツールを活用しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100	0	対象となる児童に関しては、会議を行い、保護者に説明し書面にて同意いただき、計画書に明記しています。	